

令和6年度西条保健所運営協議会 開催結果概要

- 1 会議名称 令和6年度愛媛県西条保健所運営協議会
- 2 開催日時 令和7年1月30日（木）午後3時00分～午後4時30分
- 3 開催場所 愛媛県東予地方局 7階 大会議室
- 4 出席者 愛媛県西条保健所運営協議会委員 17名（内代理出席3名）
- 5 傍聴者 なし
- 6 審議事項 (1) 役員を選任
(2) 保健所の主要事業等について
(3) その他（意見交換）
- 7 審議内容 会議は全部公開。
別添配布資料に基づき、事務局から保健所の主要事業等について説明及び報告を行い、質疑応答や意見交換を行った。
- 8 発言要旨 別紙のとおり

令和6年度 西条保健所運営協議会 発言要旨

発言者	発言要旨
委員 (質疑)	<p>年末年始における急患センター等の混雑具合をみると、例年どおりの救急当番でよかったのだろうか。長期休暇に入る場合、事前に何か対応ができたのではないかと考える。</p>
保健所 (回答)	<p>今年度の年末年始は全国的に感染症患者等が多かった。保健所としては週報等をもとにした情報提供、啓発を実施。</p>
委員 (意見)	<p>西条市も急患センターだけでも受診者は200名/日を超えており、今年度の年末年始は特殊な状況だったと考える。交通渋滞が発生し医師会事務長が交通整理を行ったが、それも限界があった。課題が残ったため、西条市医療推進課と次年度に向けて協議をしているところである。</p>
委員 (質疑)	<p>企画課の発表で能登半島に派遣された保健師の活動について発表があったが、もう少し追加して発表できることはないか。</p>
保健所 (回答)	<p>実際に能登半島に派遣された保健師に活動内容について発表してもらう。</p> <p>能登半島での活動内容は、避難所、仮設住宅、在宅避難者の健康状態を確認し、支援が必要な方の情報を被災地保健所に提供した。発災の約3か月後に今治市との合同チームで七尾市に入ったが、現地は断水の解消等により避難所の数が減少、他の支援チームが順次引き上げていく等、住民が支援の手を離れて徐々に自立している状況であった。住民は高齢者が多く、遠慮がちな方が多かったので、苦しくても我慢して気丈に振る舞う人が多く、支援内容の把握に苦心した。それでも丁寧に話をきくと心の内を話してくれ、被災者の心に寄り添った支援ができたと思う。仮設住宅では、孤独を感じている人が多く、そのような中、入居者を気にかけて、差し入れ持参で様子を見にくる人もおり、普段からの人の繋がりが大切だと感じた。活動の内容や場所は毎日、被災地保健所から指示があり、訪問リストや相談別の連絡窓口一覧も用意されていた。日頃から保健活動でリスクのある人が把握できているか等、平時からの活動が有事に役立つことに改めて気が付いた。実際に援助を受けるときには過</p>

	<p>去の災害と違う問題が多く発生すると推察されるため、災害をクローズアップさせて対応を検討するよりは、日々の業務の中で、各人が災害時の活動支援について自分のこととして考えなければならないと再認識した。</p>
<p>委員 (要望)</p>	<p>実際に経験した人でないとわからない現場の雰囲気があると思うので、この貴重な経験をこれからも各所で話していただきたい。</p>
<p>委員 (質疑)</p>	<p>先日の新聞でも取り上げられていたように PFOS、PFOA が全国的にも問題になっている。愛媛県の状況はどうか。また、検査はできるのか。</p>
<p>保健所 (回答)</p>	<p>水道水については現在水質管理目標設定項目に指定されており、PFOS、PFOA 合計で 50ng/L という暫定目標値が設定されている。管内の水道事業者である新居浜市、西条市は測定を実施しており、目標値以下であることを確認している。</p>
	<p>公共用水域についても暫定指針値として PFOS、PFOA 合計で 50ng/L が設定されているが、県では地下水、河川、海域等の調査を実施しており、管内はもとより県内で指針値を超過したところはない。</p> <p>一般の方が PFOS、PFOA の検査を希望する場合、現時点で西条保健所の検査室では検査体制は整っていないが、県衛生環境研究所では、今年の 12 月 19 日から PFOS・PFOA の委託検査を開始している。</p>
<p>委員 (質疑)</p>	<p>鳥インフルエンザに対応した職員に体調不良者は出なかったか。どのような感染防護で対応しているのか。フル防護なのか。</p>
<p>保健所 (回答)</p>	<p>防護は、フル防護で対応している。職員も応援に来ていた団体の方も含めて特に大きく体調を崩した者はいない。殺処分対応に従事した後、A 型インフルエンザにかかった事例が、50 名程度あり。すべて検査を行い、すべて通常の A 型インフルエンザと確認している。</p>
<p>委員 (質疑)</p>	<p>現在、西条市では、インフルエンザや新型コロナウイルス等が流行している。高齢者施設等には指導してもらっていると思うが、一般の方への啓発活動は、何かしていることがあるのか。</p>
<p>保健所 (回答)</p>	<p>毎週金曜日「感染症発生動向調査」により感染症の流行状況を新聞や報道機関を通じて発表している。感染症発生動向調査は、各医療機関か</p>

	<p>らの報告を各保健所で取りまとめ、愛媛県が発表している。一般の方には、新聞やホームページに掲載しているその内容を見ていただいて、注意していただくということになる。</p>
<p>委員 (質疑)</p>	<p>鳥インフルエンザについて、前回（令和3年末）の発生の際は、インフルエンザの流行は全くなかったが、初めての経験だったので、タミフルを飲むという動きがあったように思うが、今回、そのような相談があるかと思ったがなかった。前回と今回、対応が違うなという印象があったが、今回、心配になるようなことはなかったか。</p>
<p>保健所 (回答)</p>	<p>前回は、防疫作業の終了後、集合施設に医師がおり、タミフルを処方し、持参して帰るというシステムだった。今回は、予防内服の希望があれば、オンライン診療でタミフルを処方するという体制に変わっていた。そのため、タミフルの処方、感染不安があり予防内服を希望する人のみとなった。前回は、タミフルをその場で渡し、できるだけタミフルを飲んでもらうという方向性で対応していた。今回は、オンライン診療の手続きの必要があり、タミフルを希望する人が減少したのかも知れない。</p>
<p>委員 (意見)</p>	<p>今回、鳥インフルエンザ対応の期間に（医院に）相談してきた事例はなかったので、トラブルなく終わったのだろうと思っていた。</p>
<p>委員 (質疑・要望)</p>	<p>高齢者入所施設を対象に実施した感染症対策マネージャー養成事業について、今年度は何人養成できたのか。高齢者入所施設でのクラスターは多く、よりよい感染対策を目指してほしい。</p>
<p>保健所 (回答)</p>	<p>対象施設に案内し、35人（1回目：20人 2回目：15人）を養成した。次年度以降も事業を継続して実施する予定である。また、35人に対してもフォローアップできるような研修を検討してまいりたい。</p>